陳情第２６号

宝塚市における認知症予防の総合戦略及び具体的施策を求める陳情

陳情の趣旨

現在、宝塚市の６５歳以上の人口は６５６８４人で、全体の２８．５％を占めています。今後も増加が見込まれる中、認知症予防を個々人に任せるのではなく、市政レベルで取り組みを推進していくことが喫緊の課題と考えます。愛知県高浜市の実践事例や他市の先進的な取り組みをとりいれて、早急に市政課題としていく必要があります。とりわけ、ＭＩＣ（軽度認知障害）の早期発見と対策を市政レベルで取り組む必要があります。たとえば、高齢者定期健康診断に認知機能診断を取り入れるなどさまざまな具体策が可能です。また、高齢者が安心してウォーキングができるように公園を整備することや運動機能を維持向上させるための公園内設備の設置も考えていくべきです。公園の一部には、バスケットゴールや投擲板が設置されている現状があり、高齢者が不安感をおぼえている現状があります。高齢者が安心して利用できる公園整備が必要と考えます。

陳情の項目

１　宝塚市政において、認知症予防の総合戦略策定および具体的施策を早急に求めます。

令和５年（２０２３年）２月８日

宝塚市議会議長　三　宅　浩　二　様

陳情者 [redacted]